

# 村田鋼業のCCC事業

## 根津鋼材が吸収・統合

### グループ業務効率化

独立系有力コイルセクター(CCC)の根津鋼材(本社・東京都荒川区東日暮里、社長・鋼通り)のCCC事業

・業務の効率化や顧客サービスの向上、コスト競争力強化をさらに推し進めていくことになる。

9月1日付発足の新「浦安事業所」(電話047-351-5115)は、貫加工・受託加工専門事業所として運営する。所長は、村田鋼業社長を兼務している根津鋼材の根津豪夫取締役関東事業部長が引き続き務め、社員22人は全員が根津鋼材に転籍する。

根津鋼材は現在の八潮(埼玉県)、須賀川(福島県)、長沼(同)、蓼科(長野県)、相模原(神奈川県)に浦安が加わり、CCC拠点によるネットワーク体制を構築。これまでもグループ一体運営を手

掛けてきたが、品質や納期対応力、トレーサビリティ管理など顧客サービスにさらなる磨きをかける。

その一環で品質検査・母材管理・異材防止システムなどを拡充。さらには加工専用システムや引き取り運送業者の滞留時間削減システムといった新プログラムの開発も進める。

根津鋼材は09年3月に、独立系CCC(当時)だった村田鋼業の全株式を取得し、経営統合した。以来、これまで

子会社ではあるが別法人として運営しつつ、客先の理解を得ながら直需向け自販部門を徐々に根津鋼材に移管し、村田鋼業は現在、ほぼ全量が受託・貫加工となり月産約4500トを手掛ける。

前身も含めると、今月いっぱいまで69年間におよぶ鋼材販売・加工業としての村田鋼業の歴史には幕を閉じ

るが、9月以降は不動産賃貸・管理を手掛けるかたちで継続する。



9月1日付で根津鋼材の浦安事業所となる村田鋼業(浦安第1鉄鋼団地内)